

(仮称) 泉南市観光振興ビジョン (素案) パブリックコメントに対する市の考え方 (案)

箇所	意見等	意見等に対する市の考え方
全体	各表及びグラフにタイトルを表記すべき。	ビジョンに掲載するグラフ及び表については、タイトルとともに資料番号を付記します。
P1 下から 8 行目	「和食」「和紙」については、正式な登録名を掲載すべきではないか。	正式な登録名称として「和食 日本人の伝統的な食文化」「和紙 日本の手漉和紙技術」と表記します。
P2 上から 6 行目	「着地型観光」については、詳細な説明が必要でないか。	着地型観光については、発地型観光と対となる言葉であるため、ともに言葉の解説を付記します。
P3 上から 13 行目	「観光資源としての商品開発の造成に取り組む」の表現がおかしい。	「観光資源を活用した商品開発に取り組む」に変更します。
P5 上から 9 行目	「また、観光協会を中心として」の表記は、今後 DMO 等ができることを想定し、根幹たる理念的として「協会」のみを中心としてよいのか。	DMO 構築に向けた取組、また構築後においても、その中心は観光協会であるべきと考えています。
P7 図中	図において、「市民、観光協会、泉南市」のくくりに対して「他の自治体」との広域連携があるのではないか。	本ビジョンの計画期間においては、「他の自治体」との連携は、まず自治体同士の連携が主であり、その後「他の地域の観光団体」との連携へと拡充してまいります。
P8 下から 8 行目	「関西国際空港と大阪湾との連携」「歴史的建築物や自然にあふれる花と花卉栽培等」の表現に違和感がある。	「関西国際空港との連携」「歴史的建築物や緑豊かな自然」に変更します。
P15 下から 1 行目	「商工業と連携した観光」において、多言語化などインバウンド対策を講じるべき。	インバウンド対策のための商工業者を含む事業者との連携強化については、「(6) 受入環境の充実」において包含しています。

